

北海道教育委員会「S-TEAM教育推進事業」
令和4年度（2022年度）授業改善セミナー



道東・情報 実施報告

令和4年11月2日（水）、北海道帯広緑陽高等学校を会場に、道東ブロック（十勝、オホーツク、釧路、根室管内）の教科「情報」の授業改善セミナー（教科指導講座）を開催しました。道東ブロックの各管内を中心に8名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、先生方の授業改善の参考として御活用ください。

実施状況

テーマ

- (1) 教科・科目における探究的な学び(主体的・対話的で深い学びの充実)
- (2) ICT(1人1台端末)を活用した効果的な学習指導

1 説明 教科「情報」におけるICTを効果的に活用した情報活用能力の育成について

【ねらい】未来社会に求められる資質・能力の育成について理解を深めるとともに、それらの資質・能力を育成するために、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるための糸口とする。



2 実践発表

【内容】教科指導スペシャリストから、科目「情報Ⅰ」における情報活用能力の育成に向けた情報デザインの授業実践について紹介していただいた。

3 ワークショップ

【内容】クラウドサービスを活用し、1人1台端末を活用した、情報デザインの指導方法を中心に、講義・演習やグループ協議等を実施した。

4 研究協議

【内容】本日のセミナーを踏まえ「情報活用能力の育成に向けた授業改善」について、これからどのような見通しをもって授業改善を進めていくかについて協議を実施した。

本講座の実施により期待される効果

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実
- 「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善
- 1人1台端末を活用した効果的な学習指導の実現
- 教科「情報」における探究的な学びの充実

教科指導講座の実施状況

講義

学習指導要領が求めている育成すべき資質・能力と相互に関連付けながら、教科「情報」における情報活用能力の育成やそれを実現するための「単元の指導計画等」の作成に関する説明を踏まえて、自己の課題の明確化を行った。



実践発表

教科情報のスペシャリストである北海道帯広緑陽高等学校の宮川尊充先生から、情報Ⅰにおける情報活用能力の育成に向けた情報デザインの指導計画や評価方法等について紹介いただいた。



ワークショップ

科目「情報Ⅰ」における情報デザインの指導方法について、演習等を中心に行った。なお、教科情報スペシャリストである北海道帯広緑陽高等学校の宮川尊充先生が作成した説明資料等は、参加者に提供された。



研究協議

参加者の課題等について本セミナーを通じて解決の方策が見出せたか、見出せない場合はどのような見通しをもって、今後解決に向けて取り組むかについて協議を行った。



教科指導講座参加者の声

参加者の声

- ・クラウドサービスの活用について様々な可能性を見つけることができた1日だった。
- ・情報担当の教員が1人でなかなか相談できない中、このような機会を設けていただきありがとうございます。
- ・宮川先生の事例をさっそく明後日からの授業で実践します。
- ・生徒に1人1台端末をどのように使用させればよいか迷っていたが、今回のワークショップ等で指導の幅を広げることができた。
- ・「もっと授業を頑張ろう」という意識で今後授業ができそうです。ありがとうございました。

参加者アンケートの結果（一部）

- 今回の実践発表・研究協議において、教科における「探究的な学び」又は「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか
 - ・大いに深まった。 62.5%
 - ・深まった。 37.5%
- 今回の実践発表・研究協議においてICT（1人1台端末）を活用した効果的な学習指導に関する理解は深まりましたか
 - ・大いに深まった。 75.0%
 - ・深まった。 25.0%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<十勝教育局ウェブページURL>

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/tky/S-teamSeminar.html>